

平成25年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年4月5日

上場会社名 暁飯島工業株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 1997 URL <http://www.eazima.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻津 仁彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 藤沼 一男 (TEL) 029-244-5111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第2四半期の業績 (平成24年9月1日～平成25年2月28日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	2,789	△15.2	115	△36.5	123	△27.9	69	△28.2
24年8月期第2四半期	3,288	10.7	181	65.7	171	50.1	96	3.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年8月期第2四半期	6.33		—					
24年8月期第2四半期	8.82		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
25年8月期第2四半期	5,775	39.9	2,304	39.9	—	—	211.14	
24年8月期	6,178	36.0	2,223	36.0	—	—	203.73	

(参考) 自己資本 25年8月期第2四半期 2,304百万円 24年8月期 2,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年8月期	—	0.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の業績予想 (平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	6,500	3.4	220	△37.4	200	△40.3	120	△25.5	—	10.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年8月期2Q	11,000,000株	24年8月期	11,000,000株
25年8月期2Q	85,471株	24年8月期	85,279株
25年8月期2Q	10,914,625株	24年8月期2Q	10,915,587株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
5. 補足情報 .....	10
(1) 受注及び売上の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興需要による緩やかな回復に加え、政権交代に伴う景気対策への期待感から円高の是正及び株価の回復がみられたものの、欧州債務危機や日中関係の悪化、さらには雇用問題など国内外の懸念材料を払拭することができず、先行きは引き続き不透明な状況で推移いたしました。

当社関連の建設業界におきましては、震災関連予算の執行による政府建設投資の増加が下支えとなり、民間設備投資も緩やかな回復基調を続けている一方で、熾烈な受注競争や工事の集中に伴うコストの上昇により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社は引き続き工事利益率及び営業利益率の向上を目標に、受注時採算性の強化、原価管理及び施工管理の徹底、諸経費削減などの施策を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、受注高は前年同四半期比9.9%増加の32億96百万円となりましたが、売上高につきましては、工事進捗の遅れなどから同じく15.2%減少の27億89百万円となりました。

損益面におきましても、営業利益は売上高の減少などから前年同四半期比36.5%減少の1億15百万円、経常利益も同じく27.9%減少の1億23百万円となりました。また、最終損益につきましても、同じく28.2%減少の69百万円の四半期純利益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (設備事業)

設備事業の受注工事高は前年同四半期比9.9%増加の32億96百万円となり、完成工事高は同じく15.3%減少の27億67百万円、営業利益は同じく22.3%減少の2億11百万円となりました。

#### (その他事業)

その他事業の売上高は前年同四半期比3.4%減少の22百万円、営業利益は同じく4.0%減少の12百万円となりました。

なお、各セグメントに配分していないセグメント利益の調整額は、全社費用の1億8百万円であり、主に各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間における資産合計は、前事業年度末に比べ4億3百万円減少し、57億75百万円となりました。その要因は、主に現金預金及び売上債権の減少によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ4億83百万円減少し、34億71百万円となりました。その要因は、主に仕入債務の減少によるものであります。

また、純資産は、前事業年度末に比べ80百万円増加し、23億4百万円となりました。その要因は、主に四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、1億65百万円減少し12億32百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を計上し、売上債権が減少したものの、仕入債務の減少及び税金支払などから1億33百万円の支出超過(前年同四半期は1百万円の支出超過)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却などから10百万円の収入超過(前年同四半期は79百万円の収入超過)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の減少などから42百万円の支出超過(前年同四半期は11百万円の収入超過)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年8月期の業績予想につきましては、平成24年10月12日の「平成24年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,421,092	1,256,013
受取手形・完成工事未収入金	1,741,010	1,511,835
未成工事支出金	100,353	145,351
繰延税金資産	46,229	30,022
その他	151,075	77,775
貸倒引当金	△49,590	△39,230
流動資産合計	3,410,171	2,981,768
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,169,543	1,169,543
減価償却累計額	△863,092	△874,328
建物・構築物(純額)	306,450	295,214
土地	2,160,682	2,160,682
その他	12,603	15,451
減価償却累計額	△11,265	△11,853
その他(純額)	1,337	3,597
有形固定資産合計	2,468,470	2,459,494
無形固定資産	536	1,384
投資その他の資産		
投資有価証券	272,058	304,652
長期貸付金	500	500
その他	66,702	67,114
貸倒引当金	△39,745	△39,295
投資その他の資産合計	299,515	332,971
固定資産合計	2,768,522	2,793,850
資産合計	6,178,693	5,775,618

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	1,535,372	1,351,549
短期借入金	1,270,000	1,190,000
1年内返済予定の長期借入金	265,252	215,222
1年内償還予定の社債	50,000	80,000
未払法人税等	167,037	39,850
未成工事受入金	154,305	126,663
完成工事補償引当金	5,870	5,370
工事損失引当金	19,800	—
賞与引当金	71,940	42,580
役員賞与引当金	5,500	—
その他	106,551	20,475
流動負債合計	3,651,628	3,071,711
固定負債		
社債	105,000	200,000
長期借入金	142,796	137,500
繰延税金負債	—	1,913
退職給付引当金	37,195	41,547
その他	18,378	18,480
固定負債合計	303,370	399,442
負債合計	3,954,998	3,471,154
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,408,600	1,408,600
資本剰余金	3,705	3,705
利益剰余金	873,831	910,180
自己株式	△21,495	△21,516
株主資本合計	2,264,640	2,300,968
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△40,945	3,495
評価・換算差額等合計	△40,945	3,495
純資産合計	2,223,695	2,304,464
負債純資産合計	6,178,693	5,775,618

(2) 四半期損益計算書  
 第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
売上高		
完成工事高	3,265,266	2,767,186
その他の事業売上高	22,841	22,067
売上高合計	3,288,108	2,789,254
売上原価		
完成工事原価	2,898,582	2,469,079
その他の事業売上原価	10,046	9,782
売上原価合計	2,908,628	2,478,861
売上総利益	379,479	310,393
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	68,420	66,675
賞与引当金繰入額	16,107	13,114
退職給付費用	6,847	7,055
その他	106,353	108,046
販売費及び一般管理費合計	197,728	194,891
営業利益	181,751	115,501
営業外収益		
受取利息	1,582	526
受取配当金	1,640	4,361
投資有価証券売却益	—	655
仕入割引	4,820	4,172
受取地代家賃	4,373	4,410
貸倒引当金戻入額	1,571	10,762
その他	4,112	5,382
営業外収益合計	18,100	30,270
営業外費用		
支払利息	21,941	17,800
有価証券売却損	976	—
投資有価証券売却損	4,660	652
その他	764	3,662
営業外費用合計	28,342	22,114
経常利益	171,509	123,657
特別利益		
国庫補助金	9,833	—
災害損失引当金戻入額	9,420	—
特別利益合計	19,253	—
特別損失		
固定資産圧縮損	9,833	—
特別損失合計	9,833	—
税引前四半期純利益	180,929	123,657
法人税、住民税及び事業税	81,958	38,357
法人税等調整額	2,718	16,206
法人税等合計	84,677	54,564
四半期純利益	96,252	69,093

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	180,929	123,657
減価償却費	11,953	12,021
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,571	△10,810
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	500	△500
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△6,130	△19,800
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,990	△29,360
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,500	△5,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,439	4,352
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△19,920	—
受取利息及び受取配当金	△3,223	△4,888
支払利息	21,941	17,800
有価証券売却損益 (△は益)	976	—
有価証券償還損益 (△は益)	△1,834	△642
投資有価証券売却損益 (△は益)	4,660	△2
国庫補助金	△9,833	—
固定資産圧縮損	9,833	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△344,635	371,963
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	53,768	△44,998
仕入債務の増減額 (△は減少)	191,493	△183,822
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△17,576	△27,641
未収消費税等の増減額 (△は増加)	22,789	△32,997
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,437	△60,142
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	31	50
その他	△63,590	△66,251
小計	20,075	42,487
利息及び配当金の受取額	3,218	4,885
利息の支払額	△21,923	△16,243
法人税等の支払額	△2,976	△164,205
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,604	△133,077

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 2 月28日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△100,000
有価証券の償還による収入	50,000	100,000
有価証券の売却による収入	42,028	—
出資金の払込による支出	△5,005	—
有形固定資産の取得による支出	△7,715	△2,847
無形固定資産の取得による支出	—	△1,045
投資有価証券の取得による支出	—	△51,326
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	63,624
その他	76	2,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	79,384	10,597
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△60,000	△80,000
長期借入れによる収入	239,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△128,476	△155,326
社債の発行による収入	—	150,000
社債の償還による支出	△25,000	△25,000
自己株式の取得による支出	△97	△21
配当金の支払額	△14,038	△32,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,388	△42,598
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	89,167	△165,078
現金及び現金同等物の期首残高	1,352,106	1,397,092
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,441,273	1,232,013

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 受注及び売上の状況

①受注実績(累計)

区分	前第2四半期累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)		当第2四半期累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (平成24年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	1,435,567	47.9	2,258,905	68.5	823,337	57.4	3,769,700	57.9
リニューアル工事	1,482,324	49.4	970,675	29.4	△511,649	△34.5	2,403,371	36.9
土木工事	8,300	0.3	—	—	△8,300	△100.0	△27,100	△0.4
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	73,007	2.4	67,333	2.1	△5,674	△7.8	367,444	5.6
設備事業合計	2,999,199	100.0	3,296,913	100.0	297,713	9.9	6,513,416	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②売上実績(累計)

区分	前第2四半期累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)		当第2四半期累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (平成24年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	1,444,177	43.9	1,773,491	63.6	329,314	22.8	2,772,412	44.1
リニューアル工事	1,634,420	49.7	809,621	29.0	△824,798	△50.5	3,090,894	49.2
土木工事	2,292	0.1	—	—	△2,292	△100.0	14,355	0.2
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	184,376	5.6	184,073	6.6	△303	△0.2	366,463	5.8
設備事業合計	3,265,266	99.3	2,767,186	99.2	△498,079	△15.3	6,244,125	99.3
その他事業								
不動産事業	22,841	0.7	22,067	0.8	△774	△3.4	45,051	0.7
その他事業合計	22,841	0.7	22,067	0.8	△774	△3.4	45,051	0.7
合計	3,288,108	100.0	2,789,254	100.0	△498,853	△15.2	6,289,176	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。